



夏休み、みなさんどのように過ごしましたか。部活！勉強！いろいろな声が聞こえてきそうです。心に響く本と出あった人もいたかもしれません。みなさんが読んだ本の感想を聞かせてもらえるのを楽しみにしています。今しか出あえない1冊、今だから出あえる1冊があると思います。新着本コーナーの本も増えました。以前からある魅力的な本もたくさん！ぜひ飯山満中学校の図書館でも読みたい本を探してみてください。

夏休み特別貸出の本は**9月10日（水）**までに返しましょう。返さないままにしていると本の紛失にもつながります。借りていた本はきちんと返して、また次に借りる本を選んでください。

新着本の紹介

📖今回は絵本を2冊紹介します📖

『二番目の悪者』



小さい書房

林 木林/作 庄野 ナホコ/絵

「うわさのこわさ」
「うわさをそのまま信じるこわさ」
「うわさをそのまま他の人に伝えてしまうこわさ」
その「こわさ」をひしひしとを感じる1冊です。

「信じる」の反対語は「疑う」でしょうか。
「疑う」ばかりの人生は悲しい気もしますが、
「信じる」ために「疑ってみる」ことが必要な時もあるのかもしれません…。

『空をつくる』



小さい書房

村尾 亘/作・絵

あなたの家から空は見えますか？
あなたが将来、住む家からも、空は見えるのでしょうか…。

建物がたくさん建って、建物を建てる土地が足りなくなって、上へ上へと建物が高くなって、見上げると、見える空はとても小さい。建物の壁に空の絵を描いてみたら、まるでそこに空があるみたい。描かれた空の絵がどんどん増えていて…。

ぜひ手に取って、本を開いてみてください。